



### 村民憲章

- 1. 私たちは 歴史と伝統を大切にしましょう
- 1. 私たちは 美しい自然を守りましょう
- 1. 私たちは 郷土の文化を高めましょう
- 1. 私たちは 豊かな人情を育てましょう
- 1. 私たちは 仕事に誇りを持って働きましょう

April. 2013

No. 619

4

# 十津川

## 村報とつかわ

むらづくりのキャッチフレーズ「心身再生の郷」



### 【特集】P2～P9 新年度の予算

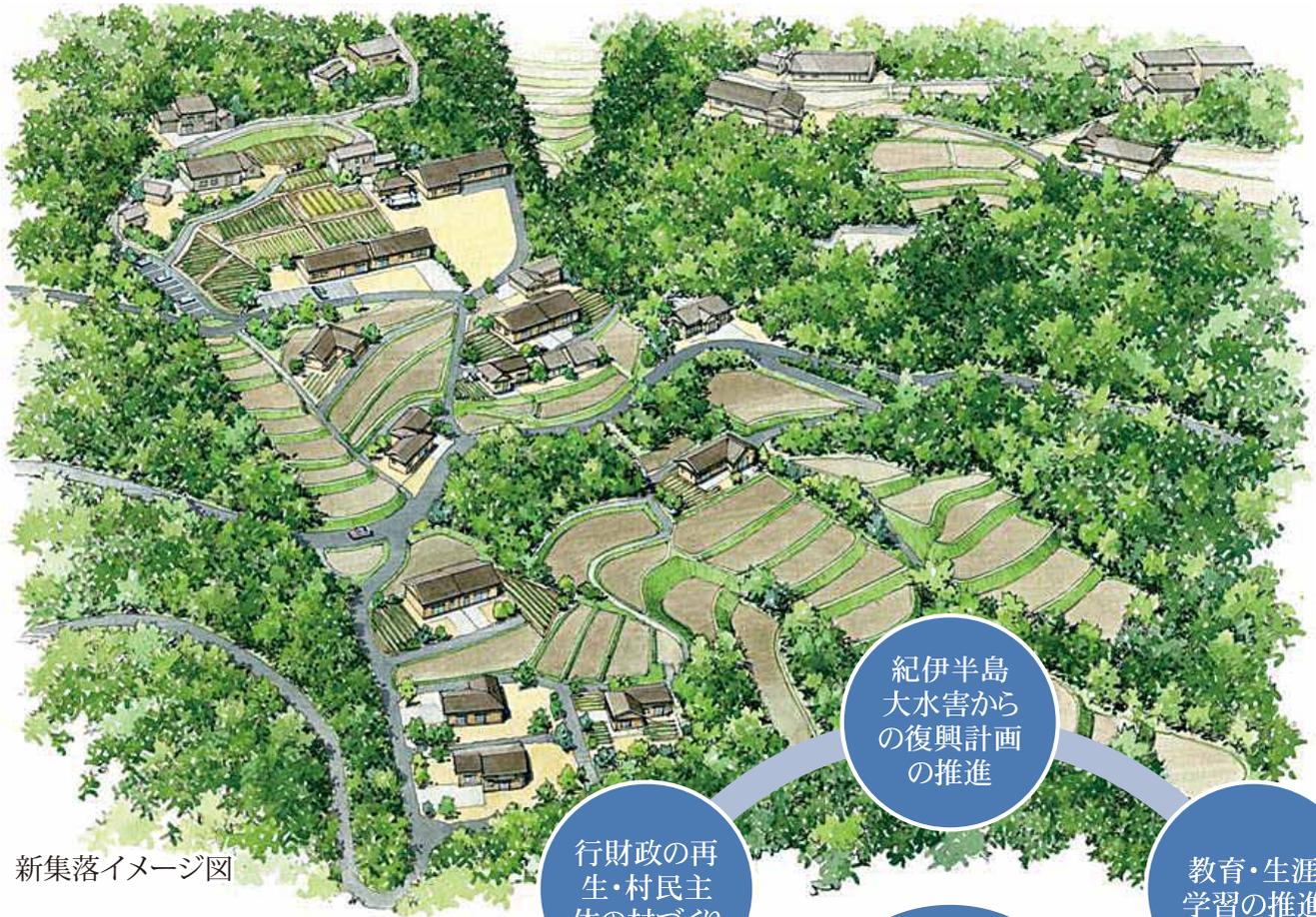
- カメラスケッチ○情報広場○村の宝○国民年金○国保だより
- 読書のススメ○人の動き



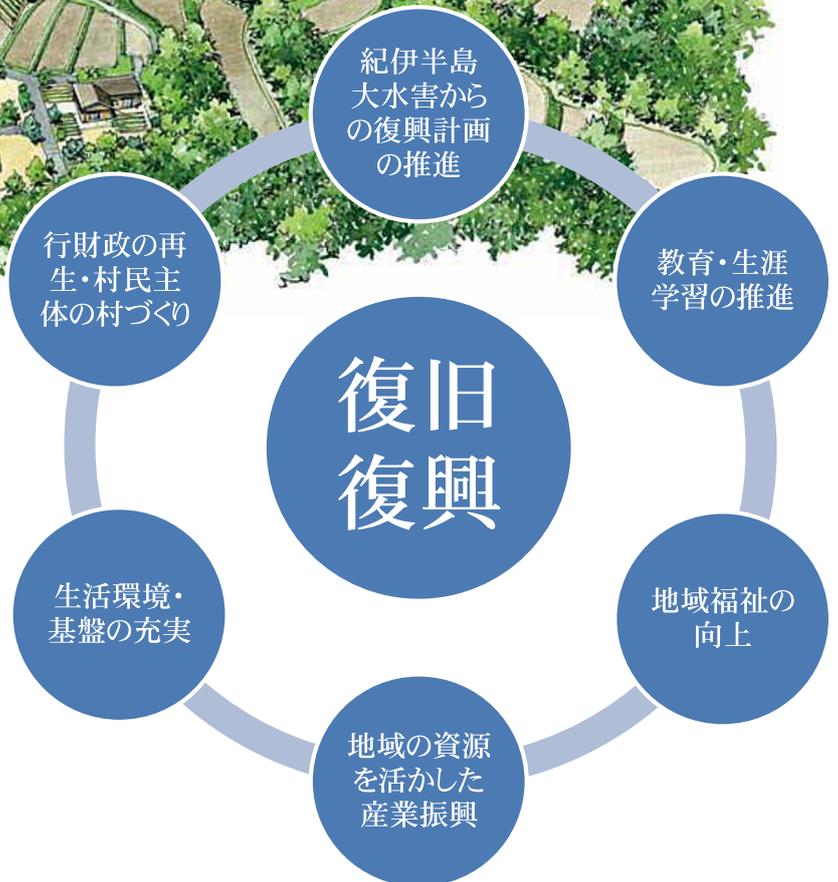
「日本で最も美しい村」  
連合に加盟しています

紀伊半島の中央に位置する日本一大きな村。全国初の源泉かけ流し宣言を行った十津川温泉郷、日本有数の長さを誇る谷瀬の吊り橋、神々が宿り日本最古といわれる玉置神社、世界遺産の熊野古道には「にほんの里100選」に選ばれた果無集落など、村には、日本の原風景が残されています。

# 施政方針



新集落イメージ図



**1日も早い  
復興を目指した  
本格予算**

平成25年度一般会計当初予算  
59億4,300万円  
前年度比1億6,400万円(2.7%)減

平成25年十津川村議会第1回定例会で、更谷村長が25年度の施政方針を示しました。

その施政方針と予算の概要をお知らせします。

## 政策目標

- 一、紀伊半島大水害からの復興計画の推進
- 二、教育・生涯学習の推進
- 三、地域福祉の向上
- 四、地域の資源を活かした産業振興
- 五、生活環境・基盤の充実
- 六、行財政の再生、村民主体の村づくり

本来は、骨格予算案を編成し、4月の村長選挙後に改めて本格予算案を編成すべきですが、1日も早い村の復興を目指すため、復興計画に基づき、予算の編成を行いました。

引き続き極めて厳しい財政状況ですが、災害復旧・復興関連事業を最優先とし、林業の6次産業化の推進、観光振興、道路整備や消防常備化など、安全で快適に暮らせる村づくりを目指します。

## 紀伊半島大水害からの復興計画の推進

復興計画では、平成25年度を短期復旧段階の終了年度と位置づけています。被災されたみなさんの生活再建に向けて、全力で取り組みます。

### 「災害に強いインフラの整備」

林道・橋梁・河川などの災害復旧事業や、村民の飲料水を確保するため、水道関連事業を推進します。

### 「安全な集落の創造」

谷瀬地区と高森地区に復興住宅

の整備を進め、安心・安全な集落づくりを検討するため、集落再生プロジェクトマネジメント事業を進めます。

### 「産業・雇用の創出」

災害以降落ち込んでいる観光客の誘客や村内の景気対策事業として、プレミアム宿泊旅行券や商工会のふれあい共通商品券の発行に助成するとともに、復興支援プロモーション事業を推進します。

### 「教育・医療・福祉の充実」

平成24年度に引き続き、小原診療所で月2回土曜日の午前中に一般診療を行います。また、被災者のみなさんを中心に、保健師による訪問活動を継続して行い、心のケアに努めます。

### 「災害の教訓を後世に伝承」

災害の記憶と教訓を正確に後世に伝えることなどを目的に、水害記録誌の編纂を行います。

災害の目印と警戒を喚起する水害警戒碑の設置、水害で犠牲となられたみなさんの慰霊碑を建立します。

各地域の自主防災組織と連携した防災訓練や、職員を対象とした図上訓練の実施と地域防災計画の見直しを行います。

## 教育・生涯学習の推進

### 「南部3小学校の統合」

統合校を旧平谷小学校跡に建設し、平成29年4月の開校を目指して、旧校舎の解体撤去工事の設計及び敷地造成工事の設計、校舎の新築工事の設計に着手します。

### 「十津川高校の教育の振興」

寄宿舎の支援や今年4月から開設される工芸コースの全面的な支援と協力を行います。

### 「文化財保護」

大峯奥駈道と小辺路の災害復旧工事、果無集落道の工事を引き続き行います。

## 地域福祉の向上

生きがい対策や地域の見守り、地域おこしなど具体的な施策を検討するため、復興住宅を整備する谷瀬地区と高森地区で、生きがいづくりの場や中間施設のあり方を、昨年に引き続き地域住民のみなさんと協働で調査検討を行います。

「介護予防・生きがい活動支援」

介護予防をはじめ、生きがい活動支援事業や在宅介護支援事業を継続して展開していきます。

「医療体制の充実」

県から派遣されていた巳波医師を村職員として今年4月から採用します。平成26年度から予定している医師3人体制に備えて、医師住宅の整備を行います。

「病気の早期発見・早期治療」

引き続き日曜日の健診実施や受診負担金の軽減措置に努めます。

地域の資源を  
活かした産業振興

(林業振興)

「村有林での林業振興策」

搬出間伐や作業道開設を行い、林業事業体の育成や林業経営のモデル的な経営を目指します。また、林業従事者の雇用対策として環境保全林で強度間伐を行います。

「私有林での林業振興策」

森林組合が行っている属地計画に加え、新たに村有林の属人計画に私有林を含めた計画の樹立を目指し

ます。今後、7区9地域をモデルに

選定し、境界の明確化や搬出間伐・作業道開設など、村が直接森林管理を強力に推進します。

「十津川材の加工品研究開発」

十津川材の付加価値を高め、木材の需要拡大を目的に、家具の研究開発や省エネ住宅の部材開発など、十津川材の加工品研究開発を行います。

「情報発信・情報収集」

榎原アルルに隣接の木灯館で、建築相談会や林業関係セミナーなどを開催します。

(農業振興)

「十津川ワサビ復活事業」

紀伊半島大水害で壊滅的な被害を受けた村内のワサビ田を復活させるため、迫西川で十津川ワサビ復活事業を行い、特産品の復活を目指します。

「農地 農業用水施設災害復旧事業」

災害により耕作していた農地が崩壊し、国庫補助事業で事業の対象とならない一定規模の農地復旧を、村単独事業で復旧工事の補助を行います。

「伝統野菜『十津川タカナ』の栽培と商品化」

谷瀬地区で生産加工したタカナの保存と安定供給のため、冷凍庫の整備を行います。

「鳥獣害対策」

害獣による農作物への被害を防止するため、個体数を減少させる対策を猟友会十津川支部に委託して対応します。また、新たな狩猟免許所持者の確保に努めます。

(観光振興)

「復興支援観光プロモーション事業」

観光PRを兼ねた物産展を大阪

「地域産業の活性化応援補助事業」

地域の新たな産業・雇用創出に向





けた団体の取り組みに、公募方式で企画・提案を受けて事業採択し、その事業に対して助成します。

「伝統文化を体験する交流施設整備」

今年夏に、武蔵地域活性化協議会が交流者の受け入れを始めます。また、教育資料館横のトイレ施設などの改修工事を行います。

## 生活環境・基盤の充実

### 「道路関係の整備」

村道、林道、農道の整備事業のほ

か、生活道路整備事業補助や急傾斜地崩壊対策事業などを推進します。

### 「那知合永井線の開通」

県営林道として開設している「那知合永井線」が、今年7月に完成し、県から移管を受けます。移管後、舗装工事などを行い、9月には開通式を行う予定です。

### 「道路整備促進シンポジウム」

国・県関係者を招き、道路整備に對するお礼と、地元のみなさんと今後の更なる道路整備促進に向け意見交換するシンポジウムを開催します。

### 「地籍調査」

長殿地内の国道168号バイパス「長殿道路」や野尻地区の国道改良整備予定地周辺の地籍調査を行います。

### 「堆積した土砂・砂利対策」

堆砂処理が未着手の場所について、引き続き国・県・ダム管理者に対して、早急な対策を要望します。

### 「中串土捨場の整備」

地元のみなさんと協議を進めて整備計画を策定したいと考えています。

### 「集落環境整備事業」

集落周辺の立木伐採を行う集落



環境整備事業を引き続き行います。

### 「水道施設の整備」

共同飲料水供給施設設置事業を7集落で整備、高森地区への平谷地区簡易水道拡張工事、下二村地区に給水を拡大するため、小原地区簡易水道区域拡張事業を行います。

## 行財政の再生、村民主体の村づくり

### 「行財政改革」

国や県の補助事業の採択を受け

財源を確保し、事業の集中と選択を行い、行財政改革に努めます。

### 「職員の人事評価制度を充実」

住民サービスの向上や人件費の削減を図るため、最小限の職員で最大の効果・結果を出すために、職員の人事評価制度の充実を図ります。

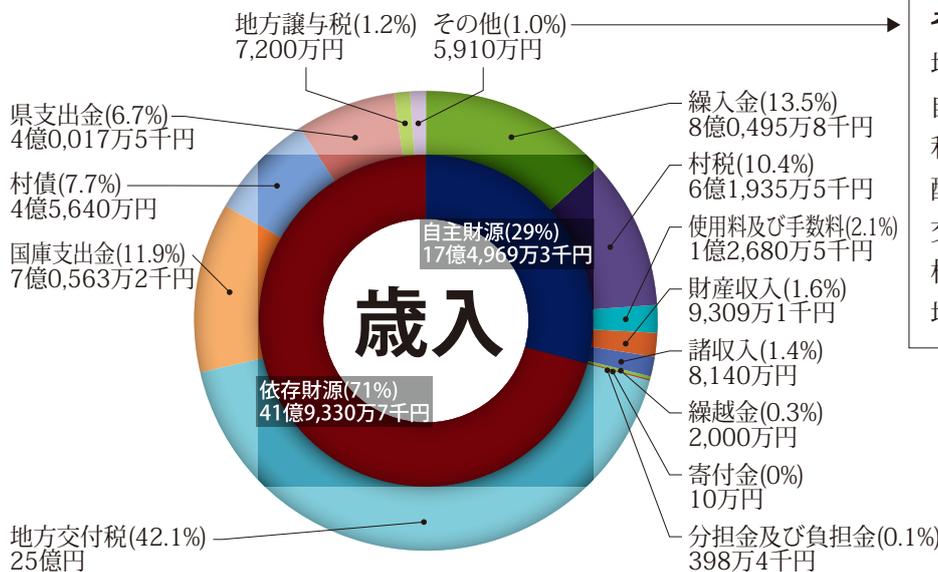
### 「情報交換の機会」

村政主要事業説明会など、村民のみなさんと積極的に情報交換する機会を設け、みなさんからの提案を村政に反映し、自主自立を基本に結果・成果を出す行政運営を行っていきます。

平成25年度一般会計当初予算

59億4,300万円

前年度比 1億6,400万円(2.7%)減

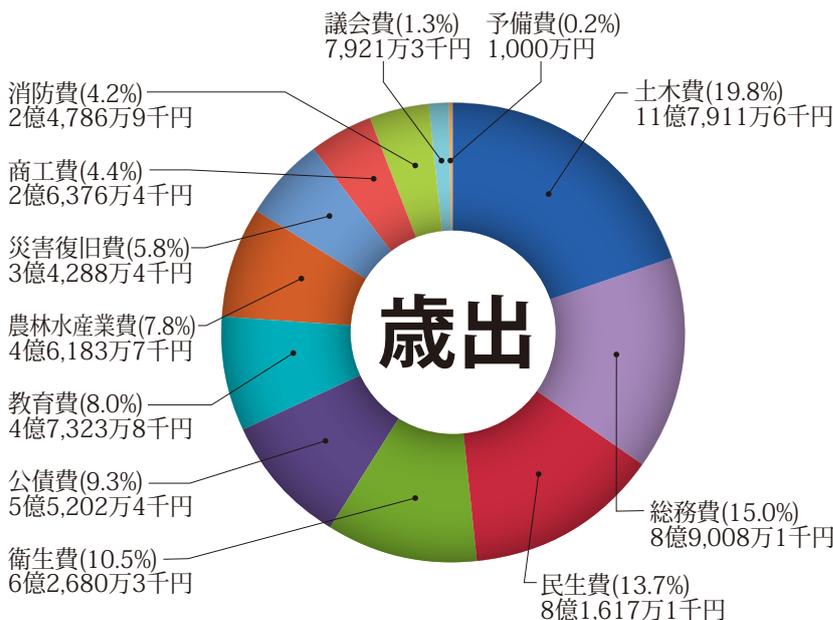


その他の内訳

地方消費税交付金	3,600万円
自動車取得税交付金	2,000万円
利子割交付金	120万円
配当割交付金	80万円
交通安全対策特別交付金	60万円
株式等譲渡所得割交付金	30万円
地方特例交付金	20万円

# 予算

いくら入ってきて、何にいくら使うのか。予算をお知らせすることで、1年間のむらづくりの計画をみなさんに知っていただきます。



用語解説

【歳入】

自主財源：村が自主的に収入することができる財源

村税：村民のみならず法人などから納めていただく税金

依存財源：国や県などから交付または割り当てられる収入

地方交付税：すべての地方公共団体が一定水準のサービスを提供できるように、国税を財源として、国が配分する交付金

村債：公共事業などで多額の資金が必要なときの長期借入金

国庫支出金：特定の事務事業に対し、国から交付される支出金

県支出金：特定の事務事業に対し、県から交付される支出金

【歳出】

議会費：村議会の活動経費

総務費：全般的な管理事務、徴税、戸籍、選挙事務などの経費

民生費：高齢者・障害者福祉、子育て支援、生活保護などの経費

衛生費：保健・環境衛生、ごみ処理、し尿処理などの経費

農林水産業費：農林業の振興、生産基盤の整備などの経費

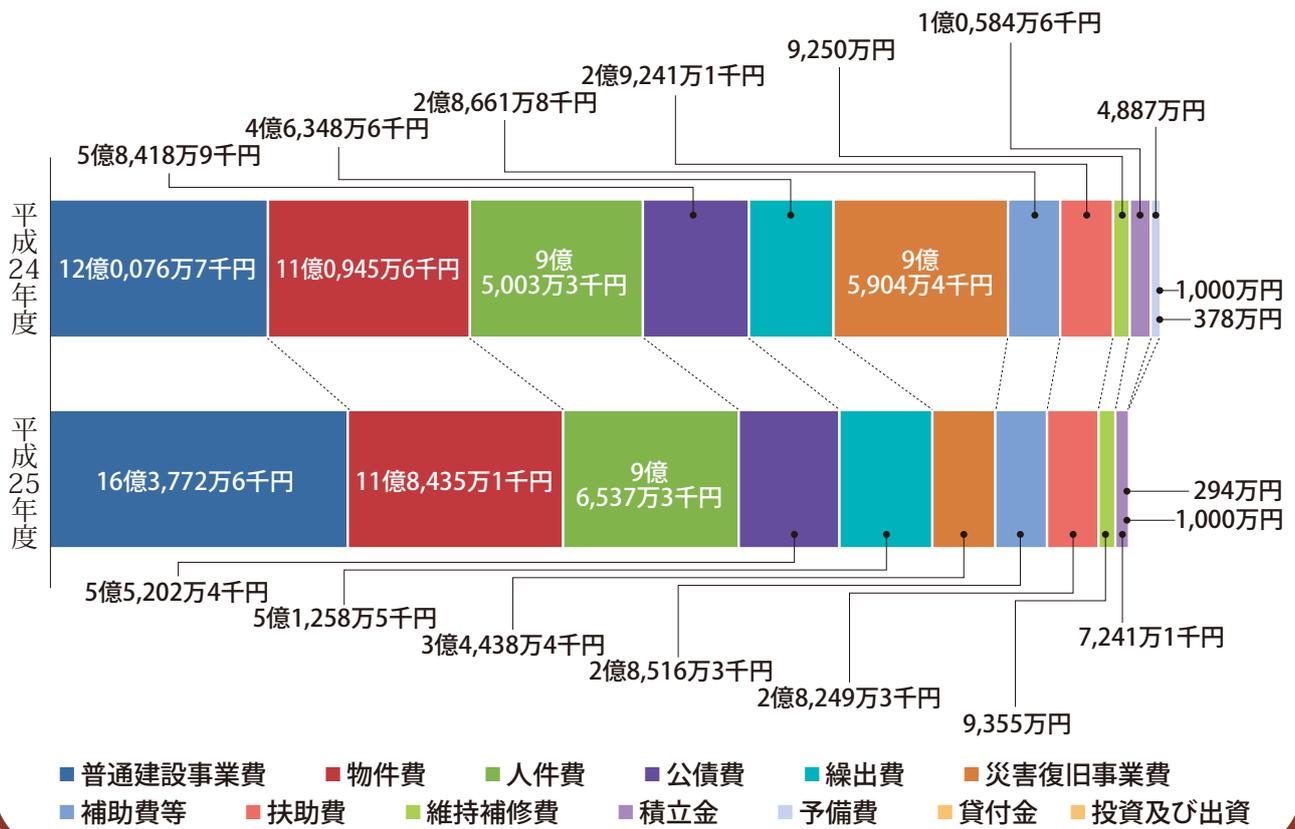
土木費：道路、河川、公園、住宅の管理や整備などの経費

消防費：消防・防災活動、防災基盤の整備などの経費

教育費：教育の充実や、文化・スポーツ振興などの経費

公債費：公共事業などで多額の資金が必要ときに借り入れた長期借入金の返済金

## 平成25年度一般会計予算性質別内訳(前年度比較)



## 特別会計当初予算

# 25億5,637万1千円

## 各特別会計の予算額

(単位:千円)

特別会計名	平成25年度	平成24年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	597,420	592,250	0.9
後期高齢者医療特別会計	61,621	64,673	△4.7
国民健康保険診療所事業特別会計	254,500	212,380	19.8
介護保険事業特別会計	571,594	569,732	0.3
介護サービス事業特別会計	39,060	23,992	62.8
簡易水道事業特別会計	608,961	569,900	6.9
貯木場等維持管理事業特別会計	368,279	362,084	1.7
十津川温泉事業特別会計	32,343	33,022	△2.1
湯泉地温泉事業特別会計	12,350	41,860	△70.5
財産区大字迫西川特別会計	10,243	5,812	76.2
<b>合計</b>	<b>2,556,371</b>	<b>2,475,705</b>	<b>3.3</b>

※増減額の△はマイナスです。

# 平成25年度 各重点事業の予算内訳

今年度の村の事業は、第4次総合計画と復興計画を  
着実に実行するため、

- ① 紀伊半島大水害からの復興計画の推進
- ② 教育・生涯学習の推進
- ③ 地域福祉の向上
- ④ 地域の資源を活かした産業振興
- ⑤ 生活環境・基盤の充実
- ⑥ 行財政の再生、村民主体の村づくり

以上の6つを主要施策として重点的に取り組みます。  
その中で、主要な事業を掲載します。

## ☎ 各種事業などの問い合わせ先

(総務)…総務課	62-0001
(復対)…復旧復興対策室	62-0001
(観光)…観光振興課	62-0004
(農林)…農林課	62-0005
(林振)…林業振興対策室	62-0005
(教育)…教育課	62-0003
(学統)…学校統合推進室	62-0003
(生活)…生活環境課	62-0907
(水道)…水道課	62-0908
(建設)…建設課	62-0904
(福祉)…福祉事務所	62-0901
(住民)…住民課	62-0900

## ① 紀伊半島大水害からの復興計画の推進

・林道・橋梁・河川などの災害復旧事業 …3億4,288万4千円(建設)	・水害記録誌の作成 …777万5千円(復対)
・戸籍・住基データの保全 …795万円(住民)	・水害警戒碑、慰霊碑の建立 …117万円(復対)
・中串土捨場関連事業 …1,344万円(生活)	・大峯奥駈道、小辺路災害復旧工事 …1,079万円(教育)
・水道関連事業 …1億8,707万8千円(水道)	・災害対策物品、衛星携帯電話通話料 …500万円(総務)
・谷瀬、高森地区復興村営住宅整備費 …3億8,784万7千円(建設)	・農地・農業用水施設災害復旧事業 …150万円(農林)
・集落再生プロセスマネジメント事業 …630万円(復対)	

## ② 教育・生涯学習の推進

・南部3小学校統合校新築工事設計費など …5,315万4千円(学統)	・体育文化センター改修工事(トイレバリアフリー化) …300万円(教育)
・小学校施設維持修繕 …2,037万6千円(教育)	・歴史民俗資料館改修工事 …130万円(教育)
・果無集落道開設工事 …3,000万円(教育)	・村民スポーツ大会 …139万6千円(教育)
・近畿へき地教育研究大会、奈良県へき地教育研究大会 …97万8千円(教育)	・十津川高等学校支援会等補助 …859万5千円(教育)
	・学校力アップ事業補助 …94万6千円(教育)

## ③ 地域福祉の向上

・特定健康診査事業 …501万7千円(福祉)	・予防接種事業 …1,003万9千円(福祉)
・生きがい活動支援事業 …2,018万3千円(福祉)	・老人福祉施設整備事業 …677万8千円(福祉)
・小原診療所土曜(月2回)診療事業 …147万8千円(福祉)	・障害者福祉 …1億1,973万2千円(福祉)
・福祉医療 …1,267万5千円(福祉)	・妊婦一般健康診査受診補助 …207万5千円(福祉)
・平成26年度の医師3人体制に備えた医師住宅の整備 …2,622万5千円(福祉)	・専門診療事業 …195万4千円(福祉)

## ④ 地域の資源を活かした産業振興

### ● 林業振興

- ・村有林の林業振興策（搬出間伐、作業道開設、環境保全林強度間伐など） …8,848万円（農林）
- ・私有林管理事業（境界明確化、搬出間伐、作業道開設など） …5,535万5千円（農林）
- ・間伐材価格安定化対策事業 …2,100万円（林振）
- ・伐採奨励金事業補助金、林業機械レンタルリース助成事業、十津川材集荷事業など …6,060万円（林振）
- ・森林基本計画実施支援事業 …1,900万円（林振）
- ・木材加工品研究業務委託料、家具プロジェクト事業 …1,600万円（林振）
- ・木灯館運営費など …800万円（林振）

### ● 農業振興

- ・伝統野菜普及事業 …30万円（農林）
- ・鳥獣害対策事業 …2,776万6千円（農林）
- ・水田台帳システム導入事業 …112万6千円（農林）

### ● 観光振興

- ・復興支援観光プロモーション事業、県南部振興共同キャンペーン事業、観光圏事業 …540万円（観光）
- ・プレミアム宿泊旅行券、プレミアムふれあい共通商品券発行事業 …1,605万円（観光）
- ・地域産業の活性化応援補助事業 …300万円（観光）
- ・地域活性化拠点整備事業 …1,270万円（観光）



## ⑤ 生活環境・基盤の充実

- ・村道開設・改良事業 …5億8,480万円（建設）
- ・生活道路整備事業、急傾斜地崩壊対策事業 …3,100万円（建設）
- ・道路整備促進シンポジウム、林道那知合線開通式 …550万円（建設）
- ・長殿道路、野尻地区の国道改良整備予定地周辺の地籍調査業務 …1,015万円（建設）
- ・五條市消防署十津川分署など常備消防費 …1億7,567万2千円（総務）

- ・集落環境整備事業 …324万円（生活）
- ・共同飲料水供給施設設置事業（7集落） …3,145万9千円（水道）
- ・上野地区簡易水道事業 …2億6,077万8千円（水道）
- ・平谷地区簡易水道拡張工事（高森地区に給水） …3,507万1千円（水道）
- ・小原地区簡易水道区域拡張事業（下二村地区に給水） …1億5,200万7千円（水道）

## ⑥ 行財政の再生、村民主体の村づくり

### ● 職員の人事評価制度の充実

- ・住民サービスの向上や人件費の削減、職員の意識改革、勤労意欲や資質、能力の向上を図ります。

### ● 村政主要事業説明会の開催

- ・村民のみなさんのご提案を村政に反映し、自主自立の行政運営を行っていくため、情報交換の機会を積極的に設けます。



# 日本一長い路線が50歳



①



②

- ①50周年を記念して、国道168号沿線の名勝などが特急バスにラッピングされています
- ②村から奈良交通(株)に贈った杉板で作った感謝状



3月1日、奈良交通十津川営業所で奈良交通八木新宮特急バスの運行50周年を記念して、奈良交通(株)に村から感謝状を贈呈しました。

同バスは、昭和38年3月1日に

奈良大仏前(奈良市)からJR新宮駅間で運行を開始し、同58年7月に発着地点を奈良大仏前から大和八木駅に変更。50年にわたって、村民や観光客の公共交通機関とし

て利用されています。

全長166.9キロで停留所は167箇所。50歳を迎えた日本一長い路線バスは、毎日3便運行しています。

## 低炭素 十津川方式 高評価



2月16日、17日、東京ビッグサイトでCO<sub>2</sub>削減の取り組みを発表する全国大会「低炭素杯2013」が開かれ、十津川村の村営バスの仕組み(十津川方式)を発表した奈良交通(株)が、「最優秀コミュニケーション賞」を受賞しました。

村営バスがCO<sub>2</sub>削減に貢献していることや、永年、山間過疎地域のバス交通の維持や発展に貢献、また、スクールバスとして子どもたちに親しまれていることなどが評価され、今回の受賞につながりました。

## 復興の大きな糧に 応援歌



3月4日、村住民ホールで声楽家荒井敦子さんやNPO「音楽の森」合唱団(約50人)の復興応援コンサートが開かれました。

コンサートは昨年1月以来2度目で、わらべ歌や名曲に続き、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を合唱。震災や水害の被災地に思いを寄せました。

また、フォークシンガーの高石ともやさんがゲスト出演し、会場に駆けつけた約80人に歌とともに復興のエールを送られました。

- ①村の部で3位入賞。チームが一丸となって頑張りました
- ②最後まで全力でタスキをつなぎました



## 全員の 思いを一つに タスキリレー

3月2日、河合町の馬見丘陵公園で第8回県市町村対抗子ども駅伝大会が行われ、県内35市町村が出場し、接戦を繰り広げました。

8区間約14.5キロを選手たちは思いを一つにタスキをつなぎ、村の

部で3位、総合で27位と大健闘しました。

また、タイムトライアルレース(約1.5キロ)に出場した選手も自己ベストを出すなど練習の成果を発揮しました。

## 木工品 売上金を 村に寄附



3月4日、平谷小学校の児童が村に災害寄付金を届けました。

寄付金は、1月末に行われた昴マラソンの大会で、総合学習で作った木工作品を児童が販売したもの。玉置さん、宇城さん、杉本さんの3人から収益の全額が手渡され、榎本教育課長は「ありがとうございます。大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

この寄付金は、村の復興に役立てられます。

## あおぞらの 広報光る 全国で



第34回全国小・中学校PTA広報紙コンクールで、十津川第一小学校のPTA広報紙「あおぞら」が、奨励賞を受賞しました。

同校PTA広報紙は、2年続けて県大会で優秀賞、全国大会で奨励賞に輝きました。

年3回発行される広報紙は、全8ページのオールカラー。子どもたちの行事や地域の人の声が掲載されるなど充実した内容。広報部員のみなさんは「これからも日本一の広報紙を目指して頑張っていきたい」と抱負を語られました。

## 人事異動のお知らせ (4月1日付) カッコ内( )は旧職 (兼)は兼務

- 退任(3月31日付)
  - ▶村上次郎・奈良県(十津川村副村長)
- 次長級
  - ▶角谷幸男・教育委員会教育次長<兼>教育指導主事(教育委員会教育課課長代理)
- 課長級
  - ▶巳波健一・小原診療所所長(奈良県派遣医師)▶榊本靖・水道課課長(教育委員会教育課課長)▶中井久視・財政課課長(議会事務局長<兼>監査委員事務局局長)▶中拓也・会計管理者<兼>出納室長(財政課課長補佐)▶和田才子・教育委員会教育課課長(福祉事務所次長)
- 課長補佐級
  - ▶後木幹嘉・<兼>水道課主幹(建設課主幹)▶森優子・福祉事務所次長(財政課課長補佐)▶前岡幸英・<兼>教育委員会学校統合推進室主幹(建設課主幹)▶千葉善幸・<兼>建設課地籍調査室室長(建設課課長補佐)▶松葉勝明・財政課課長補佐(総務課課長補佐)▶峯砂安雄・議会事務局長<兼>監査委員事務局局長(議会事務局係長)▶西岡宏樹・衛生センター主幹(衛生センター係長)▶田中秀憲・生活環境課課長補佐(生活環境課係長)▶後木雅貴・財政課課長補佐(財政課係長)
- 係長級
  - ▶上谷みや子・議会事務局係長(教育委員会教育課係長)▶阪泰二・<兼>建設課地籍調査室係長(建設課係長)▶梶嶋努・建設課係長(建設課技師)▶後木智子・福祉事務所係長(福祉事務所主査)▶千葉陽一・農林課係長<兼>農林課林業振興対策室係長(農林課主査<兼>農林課林業振興対策室主査)
- 主査級
  - ▶中南悦子・出谷幼児教室主査(小原保育所主査)▶則本ちほ・小原保育所主査(出谷幼児教室主査)
- 主事級
  - ▶辻村奈央・財政課主事(観光振興課主事)
- 新規採用
  - ▶山崎徹久・建設課技師▶神谷明成・観光振興課主事▶玉田直嗣・農林課主事▶平瀬元貴・水道課主事▶中垣彩・教育委員会教育課主事
- 調理員
  - ▶山形妙子・みどり保育所(西川第一小学校)▶北村薫・西川第一小学校(十津川中学校)▶松葉直美・十津川第一小学校(西川第二小学校)▶津賀悟志・西川第二小学校(みどり保育所)
- 退職(3月31日付)
  - ▶更谷孝澄(教育委員会教育次長)▶井向久昭(会計管理者<兼>出納室室長)▶岡修一(財政課課長)▶上東清房(水道課課長)▶大野靖史(建設課地籍調査室室長)▶東辰夫(水道課係長)▶中西真美(総務課係長)▶中畑幸恵(十津川第一小学校調理員)

## 診療所からお知らせ

### 土曜診療日(受付8:30～11:15)

小原診療所	
4月20日	第3週
5月4日	第1週
5月18日	第3週



### 整形外科診療日

受付(小原8:30～11:15 / 上野地13:30～15:30)

月 日	診療所
4月25日午前	小原診療所
5月9日午前	小原診療所
5月9日午後	上野地診療所
5月30日午前	小原診療所

## 公文書の公開状況

平成24年度に行った情報公開の公開請求については、該当がありませんでした。

☎総務課 ☎0746(62)0001

## 「親子の集いの場」毎週開所!



12月と2月のにこやかサロンで、絵本の読み聞かせを行いました。絵本の読み聞かせは、子どもにとって愛情を肌で感じる心地よい体験で、創造力や対話力など豊かな心を育てるといわれています。

### 《お知らせ》子育て中のみなさんへ

4月から下記の2か所で親子の集いの場「村っこ広場」を開所しています。ぜひ、遊びに来てください。(時間10時～14時開放)  
毎週月曜日 北部保健センター  
毎週金曜日 平谷小学校体育館ミーティングルーム  
※但し、月・金曜日が祝日・休日の場合はお休みします。

☎福祉事務所 ☎0746(62)0901

### — 庁 外 —

衛生センター 63-0391 し尿処理場 63-0291  
小原診療所 63-0040 上野地診療所 68-0207  
歴史民俗資料館 62-0137 体育文化センター 63-0067

### — 役場以外 —

観光協会 63-0200 森林館(古ル野) 62-0567 道の駅十津川郷 63-0003  
泉湯 62-0090 滝の湯 62-0400 庵の湯 64-1100  
温泉プール 64-0762 高森の郷 64-1800 社会福祉協議会 64-0666  
北部保健センター 68-0017 森林組合 64-0301 商工会 62-0132  
十津川警察庁舎 63-0110 五條消防十津川分署 64-1190

## 学生のみなさんへ! 奨学金貸与のお知らせ

村では、大学、高等学校などの学生に奨学金の貸与を行っています。(※厳正な審査の上、奨学生を決定します)

### ●貸与条件

- ①向学心に富み、学習態度が良好と認められる学生
- ②大学及びこれに準ずる学校、または全日制高等学校に在学中の学生
- ③経済的理由で、修学が困難と認められる学生
- ④保護者が村内に3年以上居住し、引き続き居住する見込がある人

### ●貸与内容

- (1)学校教育法による大学及びこれに準ずる学校  
貸与月額3万円、貸与人数2人以内
- (2)学校教育法による全日制高等学校  
貸与月額2万円、貸与人数3人以内

### ●貸与期間

卒業までの正規の最短期間

### ●申込書類

- ・奨学金貸与申請書(教育課にあります)
- ・成績証明書(最終に卒業した学校)
- ・在学証明書(H25年4月現在、在学している学校)

☎申込・お問い合わせ

締切5月15日(水) 教育課 ☎0746(62)0003



## ☑五條消防署十津川分署だより

3月11日、平谷小学校で震度5強の地震が発生し、家庭科室から出火、逃げ遅れ者3人がいるとの想定で消防訓練を行いました。

生徒たちは真剣な表情で避難訓練に取り組んだり、十津川分署員の救急・救助、消火訓練を見学したりしました。



## PM2.5の注意喚起について

PM2.5(大気中の微小粒子状物質)の数値が、環境省の定めた暫定指針値「日平均1立方メートルあたり70マイクログラム」を超える可能性がある場合、防災無線で注意喚起を行います。

注意喚起があった場合の行動の目安

- 不要不急の外出を避け、屋外での長時間の激しい運動はできるだけ控える。
- 屋内でも、換気や窓の開閉を必要最小限にする。
- 呼吸器系や循環器系疾患のある人、小児、高齢者は、より慎重な行動をお願いします。

県では、PM2.5の情報をメールマガジンで配信しています。配信を希望の人は、県の環境情報サイト「エコなら」

<http://www.eco.pref.nara.jp/index.html>または、下記のQRコードから登録できます。携帯電話からの登録はこちらから

【docomo】



【softbank】



【au】



☎生活環境課 ☎0746(62)0907

## 地域産業の活性化応援事業

村では、地域で新たな産業・雇用の創出に向けた仕組みづくりを推進するため、村内各種団体や会社などからモデル事業の企画案を公募します。

1事業100万円を上限に、優れた企画を提案した団体の事業に対して助成します。詳しくは下記まで。

- ① 募集締切 4月25日(木)17時まで
- ② 1次審査(受付・書類選考)4月下旬
- ③ 2次審査(プレゼンテーション)5月中旬
- ④ 採択事業決定 5月中旬
- ⑤ 事業実施・概算払い(事業費の2分の1以内)
- ⑥ 事業完了・実績報告(平成26年3月末まで)
- ⑦ 補助金の精算払い

☎観光振興課 ☎0746(62)0004



## 村の優良特産推奨品が決定!



鮎あぶり、柚べし、柚子ぽんしょうゆ、梅じゅーす  
【(有)十津川深瀬】



もめん豆腐、きぬごし豆腐  
【十津川とうふ よねくら】



生しいたけ  
【みやび農園】



なめこ、ブナシメジ、エリンギ  
【上湯川きのこ生産組合】



あめの魚詰合せ、溪谷ずし  
【大野川養漁場】



ひらきなめこ  
【上湯川きのこ生産組合】

村優良特産推奨品審査会では、村内で生産・生産された特産品の中で、郷土食豊かな優良特産品を選定し、広く村外に推奨しています。

2月27日の審査会で、新たに1点を含む合計13点が優良特産推奨品に決まりました。

☎ 観光振興課 ☎0746(62)0004

## サル、シカ、イノシシ、ウサギによる被害を防除する柵などの補助制度

有害獣による農作物やシイタケ・ワサビなどの特産林産物被害を防止するために柵などを設置した場合、資材費の一部を補助する制度があります。

防除網・電気柵資材などを購入し、設置が完了後、農林課まで申請してください。なお、申請には購入した資材の領収証と明細が必要です。

過去に補助金を受給された人でも、新規に防除柵などの設置や補強・修繕した場合は、補助限度額(50万円)以内であれば申請が可能です。

※消耗資材(釘、針金、塗料など)や工具類、人件費などは補助の対象となりません。

※平成24年4月1日から平成25年3月31日までに資材を購入した人は、平成25年5月10日(金)までに申請してください。



☎ 農林課 ☎0746(62)0005

柵の種類	標準設置費	補助率
防除網・柵施設	1m単価 3,000円	対象資材購入費と標準設置費を比較して、金額の低い方の50%
防除電気柵施設		対象資材購入費と標準設置費を比較して、金額の低い方の60%
ワイヤーメッシュ柵施設		
シイタケほだ場防除施設	1㎡単価3,000円	対象資材購入費と標準設置費を比較して、金額の低い方の50%



鼓動の会会長の今西芳民  
です。

十津川鼓動の会は、平成  
14年6月から語り部活動  
を始めて、今年で11年目  
を迎えます。現在会員は  
24人(村内16人 村外8  
人)で、村内の世界遺産を  
中心に、これまで約7,000  
人の来訪者を案内し、現  
在も村の魅力を伝え交流  
を行っています。

## 語り部の活動をおして知った、地域の魅力を ご紹介します。2回目は、神納川地区です。

小辺路沿いの開けた集落、神納  
川地区は、村の北西部に位置し、  
地域の中央を神納川が流れ、北に  
伯母子岳、南に三浦峠をひかえ、  
かつては宿場としての機能を果た  
していたと考えられる大字五百  
瀬の旧五百瀬小学校を中心に、  
集落が集まっています。

神納川地区には、内野・山天・  
三浦・五百瀬・杉清の5つの大字  
があります。30世帯約100人  
が住み、日本の原風景と心が今  
も残っています。

平成20年(2008年)、地区  
では廃校となった旧五百瀬小学

校を利用して、都会の子どもを  
受入るなどの神納川農山村交流  
体験地区に指定され、地域活性  
化に向けてスタートしています。

その活動拠点となる旧五百瀬小  
学校は、明治8年(1875年)  
9月に開校し、平成18年(20  
06年)3月閉校。133年の  
学び舎の歴史を閉じました。

この集落にある小松政所と呼  
ばれて、格式のある表門をもつ  
家屋には、平維盛伝説がありま  
す。その家屋は、昭和55年(1  
980年)に県の有形文化財に  
指定され、裏山には維盛塚と呼

## 今に受け継がれる

## 日本の原風景と心

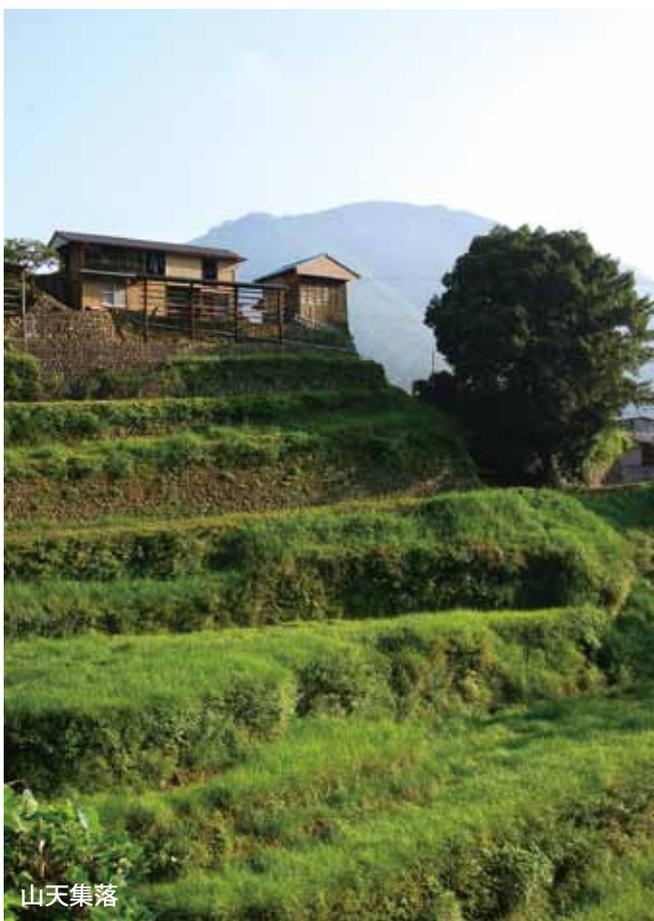
十津川  
村の宝

ばれる小さなほころがひっそり  
立っています。

その他にも、南北朝関係史跡  
である腰抜田の石碑や、明治期  
の廃仏毀釈で廃寺となった宝倉  
寺跡の石碑が立っていますが、両  
方とも明治の大水害で埋没し、

現在は歴史を秘めたまま川底に  
眠っています。

昨年、ロカルノ国際映画祭の  
新鋭監督部門で最優秀グラン  
プリを受賞した映画「祈」  
は、この小さな集落「神納川」が  
舞台です。



山天集落

「村の宝」。普段から身近にあり、特別なものと意識していかないものの中にあります。普段のものが特別な宝ものに



# 平成25年度 国民年金保険料について

## 国民年金保険料

平成25年度から国民年金保険料の月額が15,040円になりました。

(参考)平成25年度の国民年金保険料額は、国民年金法第87条において、15,820円とされていますが、平成16年度からの物価と賃金の変動に基づき平成25年度の保険料改定率0.951を乗じて、15,040円になりました。

## 前納する場合の保険料額など

国民年金保険料を前納する場合の期間及び納付すべき額について

て、厚生労働省告示により定められました。



現金で保険料を1年前納すると3,200円割引となり、6か月分前納では、730円割引となります。さらに、口座振替で納付することで現金で納付する場合より1年前納の場合580円、6か月分前納では300円割引額が増える大変お得な制度です。口座振替の引落方法は、

- (1) 1年度分の前納(4月～翌年3月分)
- (2) 6か月分の前納(4月～9月分、10月～翌年3月分)
- (3) 毎月「早割」※納付期限より1か月早く口座振替
- (4) 毎月「割引なし」

以上の4種類から自由に選んでお申し込みできます。

### ▶お問い合わせ

「ねんきんダイヤル」

☎0570(05)1165

大和高田年金事務所

☎0745(22)3531

住民課

☎0746(62)0900

平成25年度 国民年金保険料 納入額早見表 (現金納付・口座振替比較)

■ 平成25年度 ■	1ヶ月分		6ヶ月分		1年度分	
	保険料額	割引額	保険料額	割引額	保険料額	割引額
毎月納付(納付書による現金納付及び翌月末振替の口座振替)	15,040円	—	90,240円	—	180,480円	—
毎月振替・【早割】(当月末振替の口座振替)	14,990円	50円	89,940円	300円	179,880円	600円
6ヶ月前納(現金納付)	—	—	89,510円	730円	179,020円	1,460円
6ヶ月前納(口座振替)	—	—	89,210円	1,030円	178,420円	2,060円
1年前納(現金納付)	—	—	—	—	177,280円	3,200円
1年前納(口座振替)	—	—	—	—	176,700円	3,780円

毎月お得

最もお得

※一部納付(一部免除)されている方は「毎月納付(翌月末振替)」のみのご利用となります。

## 国民健康保険税の税率が変わります!

厳しい経済情勢の中、今回の改正で、加入者のみなさんにはご負担をおかけしますが、国民健康保険は、加入者のみなさんが病気やケガなど、もしものときに安心して医療を受けられるようみんながお金を出し合い、みんなで助け合う制度であることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

■保険税は次の項目により計算された合計額が1世帯あたりの年税額となります。

課税対象		加入者全員		40~65歳未満の加入者
区 分		基礎課税分	後期高齢者支援金分	介護納付金分
		国民健康保険制度を支えるために国保加入者が負担するもの	後期高齢者医療制度を支えるために国保加入者が負担するもの	介護保険制度を支えるために国保加入者が負担するもの
<b>所得割</b>	加入者の所得に応じて計算	5.3% → 6.0%	1.6%	2.0%
<b>資産割</b>	加入者の土地家屋に係る固定資産税額に応じて計算	90.0% → 60.0%	—	—
<b>均等割</b>	加入者1人につき	15,000円 → 18,000円	6,800円	11,000円
<b>平等割</b>	1世帯につき	25,000円	—	—
<b>賦課限度額</b>		510,000円	140,000円	120,000円

詳しくは、財政課までお問い合わせください。☎0746(62)0903

**平成25年度国民健康保険税(普通徴収)の納付は6月からです**

### 平成25年4月から 難病の方々も障害福祉サービス等の 対象となります

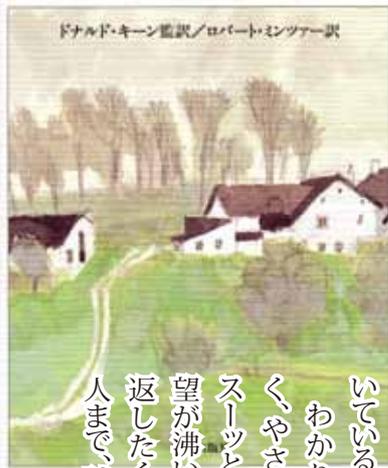
平成25年4月に施行された障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病などの方々が増えました。対象となる方は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービスなどの受給が可能となります。

※障害児・者については、障害福祉サービス、相談支援、補装具及び地域生活支援事業。  
障害児については、障害児通所支援及び障害児入所支援。

**対象者** 対象疾患による障害がある人

**手続き** 対象疾患にかかっていることがわかる証明書(診断書又は特定疾患医療受給者証など)を持参の上、福祉事務所の担当窓口へ支給を申請してください。  
その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できることとなります。

お問い合わせは、福祉事務所(0746-62-0902)まで。



ドナルド・キーン監訳/ロバート・ミンツァー訳

わがかりやすい言葉で、暖かく、やさしく、読み手の心に、スーッと染み込んで、未来に希望が湧いてくる、何度でも読み返したくなる。子どもから大人まで、読んでみてほしい1冊。

## 読書のススメ

### 「十津川集」

とをつ川 あれにし里の

あと問えば

昔のさまは

ゆめにぞありける

### 十津川水害の跡を見て

上杉直温

大正3年第4代十津川村長上杉直温氏(大字今西)と中西孝則氏(大字池穴)の両名が村の由緒・旧跡や55大字それぞれを詠み出版。郷土意識の高揚に努めた短歌集。



もし「未来」という町角で君たちを呼び止めることができたらどんなにいいだろうと作者は語る。歴史を知り尽くした作家が、これからの日本を担う子どもたちに未来を託した力強いメッセージ。  
人は自然という大きな存在によつて生かされている。このことを忘れずに自己を確立せよ。「いたわり」「他人の痛みを感じる」「やさしさ」これら3つの言葉を身につけねばならない。自分に厳しく他人に優しく、頼もしい人格、頼もしい君たちになつてほしい。君たちにはそれができる。君たちの未来は真夏の太陽のように輝いている、と。

司馬 遼太郎

## 「十津川集」に尋ねる 十津川史

### 【十津川の大合併】

#### 【神下】

かみやまと下葛川のふたさとを あはせて名のる世とはなりにき

#### 【重里】

かぎりなくさかえゆくらん ふた字重ねてなれる里のゆくすえ

中西孝則

「神下」は神山と下葛川を「重里」は田良原と檜尾崎を合併。

明治22年町村制実施とともに6カ村(北十津川村、十津川花園村、中十津川村、西十津川村、南十津川村、東十津川村)設置。明治維新の60カ村を55に合併し、大字とした。しかし、同22年8月の大水害で宅地、田畑流失6000戸が北海道へ移住する結果となり、各村の独立はし難くなる。翌23年、全村を7区55大字

に分ち、北十津川村を中野村、神納川の2区とし、十津川花園村を二村区、中十津川村を三村区、西十津川村を西川区、南十津川村を四村区、東十津川村を東区とした。

#### 【小井】

長しへに小井戸は汲まん さきはへて いつか大井を汲む時も来む

上杉直温

小井に銚子という大滝があったが、明治22年の洪水に埋没し面影もなくなった。

#### 【長殿】

長殿はいかなるひとか知らねども 里のつかさの名とこそは聞け

上杉直温

元治慶応の頃は、この地に関門を設け、官吏が他人の出入りを正していた。

#### 【平谷】

朝な夕なあきない船のゆききする みち平谷の里ぞにぎわう

中西孝則

熊野灘へと流れる十津川は、新宮〜十津川間の筏流しと商船の交流で、その賑わいは昭和の時代まで続いた。海産物を載せた商船は、蔵尾、垣内と平谷地内を停泊し、折立に向かったという。川の利用が盛んだった昔の話である。

#### 【今西】

むかしたれびがしをあとに移り来て すみそめにけん今西のさと

上杉直温

上杉氏は今西に生まれ、年少の頃より学問を好み、書に能くした。十津川郷土と共に京都御所警備の任に従う。明治29年、新十津川村の第6代村長となり、旧郷出身の先輩として草創期の新十津川に力を尽くす。帰郷後、同34年4月第4代十津川村長となった。

※参考「十津川郷」「十津川人物史」

編集・お問い合わせ

総務課

☎0746(62)0001

# 人のうごき

(敬称略)

## おめでた

山本 麗華(うるは) 女 3月15日  
父:亮之 母:唯 (滝川)  
満尾 悠人(ゆうと) 男 3月15日  
父:恭祐 母:千夏 (平谷)  
後木翔ノ介(しょうのすけ) 男 3月22日  
父:孝哉 母:はるな (平谷)

## ご結婚

福井 栄作(小井) 福飯 瞳(下市町)  
中 秀幸(出谷) 天野 由貴(本宮町)

## おくやみ

中 つや 86歳 2月28日(平谷)  
松木平安臣 67歳 3月3日(平谷)  
乾 喜晴 86歳 3月6日(出谷)  
松木平ちず糸 75歳 3月8日(迫西川)  
富永とらへ 75歳 3月12日(上野地)  
久保 弘子 92歳 3月19日(高津)  
辻村キヨ子 91歳 3月23日(滝川)  
田本 繁文 63歳 3月30日(湯之原)

## 善意銀行 (敬称略)

十津川村民生児童委員協議会



### ふれあい共通商品券

お買い物のほか  
「慶弔・お見舞いのお礼」  
「お中元・お歳暮」  
「商品・景品」など  
にもご活用できます。

商品券は、下記のマークのあるお  
店ご利用できます。

お買い求め、お問い合わせは  
十津川村商工会

☎0746(62)0132へ



# お誕生の おめでとう!



りゅうせい  
森 龍星ちゃん(上野地)  
(4月8日生まれ・満1歳)

龍のように強く、  
星のように光輝く  
男になってね☆

父…操織 母…恭子



## 十津川高校だより

☎0746(64)0241

つしに  
けんぼらう  
NexTotsuko

### ■学校行事

#### ●中高一貫・特色選抜入試・一般選抜入試

中高一貫・特色選抜入試を2月21日に、一般選抜入試を3月13日に行い、**工芸コース13人、普通コース25人の計38人**が合格しました。みなさん、合格おめでとうございます!!



合格発表を待つ中学生

#### ●第64回卒業証書授与式

3月1日に卒業式を挙行し、**51人**が卒業!希望を胸に、全員が笑顔で十津川高校を巣立っていきました。

#### ●短期語学研修

3月23日から8日間、本校の生徒3

人がイギリスでホームステイをしながら語学研修を行いました!(村や十津川高校同窓会から支援をいただき、語学研修に参加しています)

#### ●学校評議委員会

2月9日に学校評議委員会を開催!同窓会長、育友会長始め、学校評議委員のみなさんに、本校の昨年度の取り組みについて、アドバイスや意見をいただきました。

### ■部活動報告

#### ●剣道部

3月17日に兵庫県赤穂市で行われた第6回近畿高等学校選抜大会に出場!惜しくも予選リーグで敗退しましたが、夏に向けた課題が見つかりました!

#### ■同窓会

3月11日に創立150周年記念事業第4回実行委員会を行いました。



十津川高校を巣立った卒業生

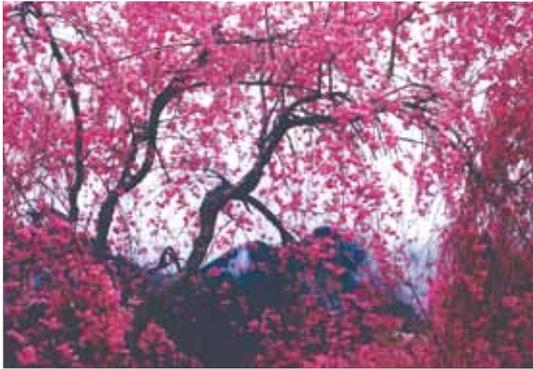
村を見つめ直すきっかけに、人と自然とを考えるきっかけに、私のむらの絶景を募集します。  
詳しくは総務課の広報担当まで。



# 私の集落の絶景

めざせ100枚の

## 12枚目



濃いピンク色を満開に咲かせた桜。山々を見下ろす場所に力強く立つ。撮影場所・大字小川  
(写真: 大字内野 伊葉為利さん)

## 11枚目



天上山から丸尾山を経て迫西川に向う街道にそびえ立つ3本杉。弘法大師がこの周辺で弁当を食べ、水がないから箸を突き刺し水が出る木に成る様にと残した物が今の杉という。  
(写真: 大字西中 垣野一光さん)

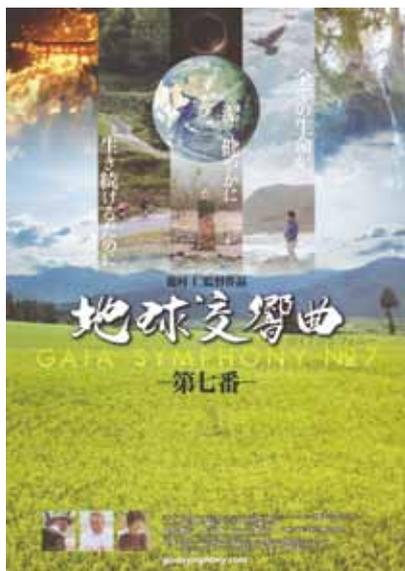
## あとがき

▶ある先輩から教わったお話があります。

「どの方向からでもいいのでコップの絵を描いてみて」と言われた小さな子どもが、コップを想像して絵を描きあげました。出来上がった絵は、ひとつの真ん丸な円が描かれていました。絵を描くようにお願いした大人が不思議そうに尋ねると、子どもは「コップの底から見上げた絵を描いたの」と無邪気に言ったというお話です。

ひとつの物事でもいろんな角度から考えてみるといろんな世界が広がっていく。いろんな可能性を求めて、心新たに平成25年度スタートです。(Y・T)

▶月日が経つのは早いもので、もう4月に入りました。山には桜が咲き乱れ、過ごしやすい季節になりました。新しい生活を新しい場所でスタートさせる社会人や学生などが見られます。いままで村内で生活していた人でも村外で新たに生活を始める人もいられることでしょう。新たな出会いや生活に戸惑いながらも広い世界へ飛び込み、いろいろな世界観や人生観などを身につけ、また村に帰ってきてほしいものです。「心のふるさと 十津川村」を胸に秘め、広い世界で活躍することを期待します。(R・M)



### 紀伊半島大水害復興支援チャリティー上映会

日時：4月21日(日) 開場9:30/  
上映10:00

場所：ホテル昴(大字平谷)

入場無料。お申し込みは下記まで  
ホテル昴 ☎0746(64)1111



●人口 3,799人(-51人)

男性 1,896人(-34人) / 女性 1,903人(-17人)

●世帯数 1,884世帯(-31世帯)

【平成25年4月1日現在 ( )は前月比】